

患者さんとの絆

病院長 須藤 英仁



明けましておめでとうござ
います。今年が皆様にとりま
して素晴らしい年になること
を心よりお祈りしております。

さて昨年は大変な年であり
ました。そんな中、われわれ
が学んだことも数多いと思
います。災害は忘れたころにや
ってくる。原発の事故につい
ては想定が低く設定されてし
まったため、マニュアルが非常
に不備であったこと、逆に避
難についてはマニュアルより
も危機に対する感性が重要であ
ったこと、わが故郷安中の災
害の少なさにも感謝。等々…
さらに申し上げれば、命のは
かさも感じずにはいらませ
んでした。

しかし、われわれ医療人は、
下を向いている時間はありません。
これらのことを踏まえ、
一歩ずつ前進あるのみと考
えております。特に医療の安
全については、待ったなしの
状況になりつつあります。これ

らの要因としてまず挙げられ
ることは、患者さんの高齢化、
疾病の複雑化などが考えられ
ます。長寿社会となり、一人
の患者さんが、いくつもの病
気を持っていることが多くな
ってきていること、高齢による
認知症の発症、などきわめて
難しい問題が山積みとなつて
おります。つまり入院してき
ても、入院したことが理解で
きない。骨折をして手術をし
た後でも、手術をしたことさ
え忘れてしまう。などなど、
最近私どもの病院でも日常
茶飯事に起こっている出来事
です。さらに血液サラサラな
どという、うたい文句で脳梗
塞などを予防する薬などを飲
んでいけば、緊急の手術が不
可能ということもよくありま
す。これを踏まえ、いま病棟
でも気に掛けていることは
患者さんの薬の管理のこと
です。当院にかかっている患
者さんにつきましても、どん
な薬を飲んでいいのかだいた
い把握できませんが、他院か
らの患者さんはどんな薬を
飲んでいて、またなぜこの薬
が必要なのか？などはつきり
しないことも多いのです。ま
して認知症のある患者さん
は本人に話を聞いても正確な
回答は期待できません。対応
を間違えるときわめて危険な
状況が起りうることを理解し
ていただかなければならない
のです。

このような状況では、必要なことは家族の方の協力と、病院内でもっとも身近にいる看護師の対応がきわめて重要と思います。これは先に述べた危機に對しての行動と全く同じであります。つまり看護師に求められるのは、いろいろな仕事に對する、しっかりとした行動規範の確立と、その行動規範により決まったことを正確に行うまじめさです。また不都合が出た時、直ちに見直しを図る思考の柔軟性もかかせません。危機、つまり患者さんの異常については、このことを早くに感じる感性が求められます。第六感までフルに使い異常を感じる能力を磨くことです。

そして最後にお問い合わせ

とは“家族の方の協力”です。日頃の患者さんの状態・薬のこと、さらに看護師をはじめとする当院の対応など家族の方の目で見て感じたことや、もし投薬などで気になったことがあれば、すぐに教えてほしいのです。時には家族の方の指摘により大きな事故にならずに済むことがあるからです。これはわれわれにとってまさに病院と患者さん、家族の方との“絆”であると思います。

今年もこの地域の病院として患者さんとの“絆”をしっかりとせずさえ、いざという時に頼りにされる病院となれますよう職員一同努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

看護部 新年のごあいさつ



看護部長 藤原 美津子

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願
いいたします。

昨年は3月11日の東日本大震災や世界中の不景気に伴う影
響など、なかなか穏やかでは
ありませんでした。震災にお
いては須藤病院の看護職員も
早速救援活動に参加いたしま
した。今でも復興が進まずご
苦労されている方が多くいらっ
しゃることに心が痛みます。

原発の問題や円高、不景気等
ありますが、今年はどうのよう
な年になるか、期待と不安が
あります。

そのような中でも、須藤病
院の看護部は何とか看護の質
を上げたいと日々努力を重ね
ています。須藤病院の「私たち
の約束」に掲げ、毎日発表
しております。

筆頭に

- ① 私たちは、笑顔で親切な対
応を約束します。
- ② 私たちは安全確認をします。
- ③ 私たちは診断治療に全力を
尽くします。
- ④ 私たちは常に進歩します。

⑤ 私たちは患者様、地域の皆
様、従業員の間たち全て
の人が幸せになる事を目指
します。

を日々努力しております。

それでも、なかなか皆さまの
期待に応えられないことも多々
あるのが現実です。今年には職
員一人一人まで一層気を引き
締めて、なおかつ遣り甲斐を
持てる仕事をするよう努力す
る所存でおります。

また、スタッフ教育に関し
ては毎年努力しながら、頭を
悩めるところではあります。今年には看護協
会のご協力を得てアドバ
イザーを派遣していただくこ
とにしました。少しでも新人
や指導者そしてそれを支援す
る全職員が働きやすい環境に
つなげるようにしたいと願
っております。

さらに、今年には医療・介護
診療報酬改定の年にもなりま
す。患者さんに良い医療を提
供するには、健全な病院経営
は必須です。患者さんにとっ
て必要な医療看護が提供
できるよう、勉強も続け、自己研
鑽に取り組み、患者さん・ご
家族の方は当然ながら職員同
士にも笑顔で対応する働きや
すい環境づくりにもさらに力
を入れていくつもりでおりま
す。

今年もよろしくご指導ご支
援くださいますようお願いい
たします。

老人保健施設めぐみ

～1年間を振り返って～

支援相談員 古島 隆矢



明けましておめでとうございます。
今年もどうぞ宜しくお願い致します。

去年は3月に起きた東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故の影響等、私達が今まで当たり前として気にせず、安心して生活してきた事柄を大きく見直さなければいけない大きな転換期の一年だったという印象がありますが、皆様はいかがだったのでしょうか？

今年の正月は、被災地の方が少しでも希望を持って、安心して年を越す事が出来ていれば幸いかと思います。なかなか復興の道も険しいという知らせをよく耳にします。今年は少しずつでも復興が進み、被災地にも活気が戻る事を強く願っております。

さて、老健めぐみで昨年大きく変わった点としては、通所リハビリテーションをより多くの方にご利用いただけるようにするため、受け入れ定員数を1日あたり40名から50名に増やした事です。以前より、40名の定員では、ご利用出来ない方が多数いらっしゃいました。定員数を増やす事になり、その結果、予想していたよりも多くの方のご利用があり、現在では定員がいっぱいの曜日がある程になりました。ご利用して下さっている皆様には本当にありがたく思っております。

また、去年は皆様に喜んでいただけるようレクリエーションやイベント等の余暇活動にも力を入れた一年でした。特に地域のボランティアの方々の慰問に関しては、積極的に受け入れさせていただいております。ボランティアの皆様方が来所して、歌や踊り等の披露

をして下さる事で利用者様方は大変喜ばれ、とても良い表情を見せて下さっております。

さらに、二葉幼稚園の園児や新島学園等の近隣の学校からの慰問等も積極的に受けさせていただく事で、地域の方々との交流が図れ、地域に根ざした施設になれるように取り組んでおります。

今年も皆様に喜んでいただけるようイベント等を計画してまいりますので、ご意見などがございましたら、ぜひお聞かせ下さい。宜しくお願い致します。

H24年 めぐみ 年中行事予定

1月	初詣、どんど焼き
2月	節分、バレンタイン
3月	ひな祭り、ひな市、梅林見学
4月	お花見
5月	端午の節句、外出レク
6月	職員による出し物
7月	七夕、スイカ割り
8月	納涼祭
9月	敬老会
10月	運動会
11月	文化祭
12月	クリスマス会、餅つき



二葉幼稚園児の訪問



毎年恒例となりました新島学園の生徒さん達によるハンドベルの慰問の様子です



手作りおやつです。
今年はおやきを作りました。



はまちの解体ショーです。
お寿司はやはり人気でした。